

科目名	母性看護学課題研究Ⅱ Special Research Ⅱ in Maternity Nursing		担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目 目的	中間審査での審査内容を反映し、研究内容の充実を図るとともに、研究倫理の基本に則り研究倫理審査申請書を作成する。研究計画に従って自律的に研究活動を遂行し、臨地教育者あるいは専門看護師に必要な研究能力を養う。											
ディプロ マ・ポリ シー (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。 7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。 ※臨地教育者コース：6 専門看護師コース：7										
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していける研究能力を身につけている。										
到達 目標	1. 必要に応じた倫理的配慮を行った上で、研究計画に沿ってデータやその他の情報類を収集することができる。 2. 選択した方法に必要な研究遂行上の留意点や注意事項について理解することができる。 3. 必要に応じて研究フィールドの調整を行い、主体的に研究を進めることができる。											
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (50%)、研究倫理審査申請に関する書類 (40%)、取組み状況 (10%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時に提示する。											
受講者への メッセージ	臨地教育者あるいは専門看護師として必要な研究能力を養う科目です。実践の場における課題解決に貢献することを期待します。											
備考	データ収集活動に先立って本学の研究倫理審査を受審し、「承認」の判定を得ること。											
学 習 内 容												
【到達目標 1 について】 - 研究計画の実施における様々な倫理的配慮について再検討し、必要に応じて研究倫理審査を受審する。 - 研究計画に沿って必要な情報類を、指導教員等からの助言を受けながら収集する。 【到達目標 2 について】 - 研究遂行上の様々な留意点や選択した方法に応じた注意事項について、指導教員の助言をもとに理解していく。 【到達目標 3 について】 - 研究計画の実施や計画遂行上の修正や調整について主体的に関わる。												